

平成 26 年度 第 6 回神守中学校支援地域本部実行委員会

平成 27 年 3 月 12 日 (木) 17:00～

神守中学校 校長室で

<参加者> (本部長、副本部長、コーディネーター 2 名、相談役、広報 1、外国人支援代表、環境支援代表、PTA 母代、校長、教頭)

<次第>

進行：教頭

1 開会の言葉

2 本部長あいさつ

* 先日の卒業式に参加させていただき、立派な式であった。22 年度から毎年参加させてもらっている中で一番静かな式であった。答辞の生徒へのハンカチは、校長先生のナイスアシストであった。豆ボラも 4 年半を終了。多くのボランティアさんの協力で今日が迎えられたことと心から感謝している。来年度から市内の各小中学校で地域本部が広がると、教育長さんからの言葉があった。豆ボラも、車で言うと、多くのオプションを付けて、豆ボラ独自の新たな車づくりを目標に進めていきたい。

3 校長あいさつ

* 1 年間、本当にありがとうございました。卒業式も無事終え、ホッとしている。公立入試で全員合格を願っている。教師とボランティアとの距離感を今後も考えていきたい。地域の事業のいくつか予算がついた。来年度もよろしくお願ひしたい。

4 協議事項 (今年度の評価・反省、次年度への活動の方向)

(1) 平成 26 年度の事業報告について

①学習支援

- ・ドテラ・・・3 年生対象・・・現在 25 名 (3 / 14 お別れ会) 10:00～12:00 に調理室で
- ・月テラ・・・1 2 3 年生対象・・・現在 19 名 (3 / 2 最終日終了)

* 外国人の学習支援 (3 年 1 名、2 年 1 名、1 年 2 名) をドテラの中に入れてのが、今年度の変更点でした。その甲斐もあって高校に合格できた。学校との連携によって、成績が上がった生徒も多かった。参加生徒の事後アンケートによると、全員が参加して良かったと回答している。他には、勉強が分かるようになった、マンツーマンで教えてもらってよかった。大学生と知り合えて良かった。月テラでは、理科の先生がほしいなど、アンケートを元に来年度、できるだけ配慮をしていきたい。

②図書支援

- ・貸出支援・・・ 3 / 17 貸出活動終了
- ・交流会 (給食時に) 生徒図書委員も参加

* 火・木曜日に生徒と一緒に貸し出し作業を行ってきた。先生の計らいで、連携してできた。ボランティアは要らないのではという意見もあるが、図書室には、癒し求めてやってくる生徒もいる。大人がいることで安心して来室することができている。図書ボランティアさんの中には、本が好きに方が多い。図書補助員とも連携して、第 2 図書室 (北館) も開設し、読書への姿勢が変わってきた。今後もボランティアの目的を共有していきたい。

③外国人支援

- ・適応指導教室とドテラでサポート

* 大学生との話を楽しみにしている生徒がいる。ボランティアさんも我が子のように心に留めている。中には外国人に関わりたいというボランティアさんもいた。とてもいい感じで進めることができた。

④環境支援

・春と秋の花植え作業

* P T Aと生徒のグリーンキーパーとで一緒にやれたのはよかった。P T Aからも生徒と一緒にできたし、この程度のことなら今後も是非呼んでほしいとの声があった。特別支援学級では、ブルーベリーの植樹をした。今後の手入れの仕方の支援もお願いしたい。

⑤生活安全支援

・月1回の校内巡視活動

・風と土の会（給食時に）・・・今年度はできなかった。

・生徒指導部とのあいさつ運動参加の予定が今年度はできなかった。

* 先日、ボランティアさん同士の懇親会を行った。40歳から70歳まで幅広い年齢層の集まりで、豆ボラがなかったら会えなかった関係だ。来年度も先生を応援したいとの意見でまとまった。今年度は、神守交番の警察官が、神守中の生徒へも積極的に声かけしていただいたり、自転車マナーや校外生活での注意なども精力的にさせていただき、とても感謝している。

⑥学校行事支援

・キャリア教育支援（大学生等とのディスカッション）

1月23日（金）終日実施

* 平日の丸一日を都合してもらえる学生や社会人を集めるのに苦労した。当日は最初は緊張していたが、失敗談を交え、次第にうち解け、ボラ同士も連携して対応していただけた。来年度も、有休を取って参加したいというボランティアさんもいた。とても嬉しいことだった。

⑦学ボラ派遣（小学校へ）

・依頼があったが、今年は希望者がいなかった。

* 来年度は3人派遣予定（蛭間小、神守小、津島市内の高校へ）

⑧中学生ボランティア派遣（地域行事へ）

月	日	曜	行事名	主催団体	参加者数	活動内容	引率
8 済	2	土	高台寺小校区コミュニティ夏まつり	高台寺小コミ	生徒 25名	出店担当 その他	赤田
8 済	2	土	蛭間校区コミュニティ盆おどり	蛭間コミ	生徒 18名	出店手伝い	石田
8 済	24	日	宇治町自主防災訓練	宇治町町内会	生徒 14名	体験参加	石田
10 済	18	土	神守小校区コミュニティフェスティバル	神守小コミ	生徒 48名	出店補助準備・運営	小林

10 済	25	土	神守保育園ふれあい秋祭り	神守保育園	生徒 27名	ゲーム補助 準備片付け	阿部
11 済	16	日	神守小学校区自主防災 会防災訓練	神守自主防災 会	生徒 25名	体験参加、 補助	石田
11 済	30	日	神守校区いきいきウオ ーキング	いきいきウオ ーキング実行 委員会	生徒 16名	準備、受付	兼子

*参加した生徒は、また参加したいという希望が多かった。

⑨その他（部活動支援等）・・・

*学校側が中心になって実施。審判のできる人がほしいとの要望があった。

(2) 平成26年度の事業決算報告について・・・資料2

3月13日締め

(3) 全活動日数・のべ人数集計・・・資料3

図書支援（毎週火・木曜日に約3名ずつ参加で年間を通じて実施、交流会1回）

学習支援（月テラ：9月末から3月上旬までの月曜日で15回実施）

（ドテラ：8月から3月までの土曜日で25回実施）

学校行事支援（キャリア教育支援1日）

生活安全支援（あいさつ運動や校内巡視活動で、約毎月1回で5回実施）

環境支援（春と秋の花植え作業2日、ブルーベリー植樹1日）

外国人支援（適応指導教室で数回＋ドテラで10回ほど）

学ボラ小学校派遣

年間のべ720名のボランティア支援。

大学生ボランティア【出身・学年別】 登録数

出身大学	4年	3年	2年	1年	合計
名城大	9	9	3	1	22
名古屋大		1			1
愛知教育大	9	8	2	2	21
岐阜聖徳学園大	2				2
三重大		2			2
愛知県立大		2			2
皇學館大		1			1
名古屋芸術大		2	1	1	4
東海学園大			1		1
淑徳大			1		1
退職教員					5
合計	20	25	8	4	62

大学生ボランティア等【地域別】

地 域	中学校区	人数
愛西市	佐屋	5
	佐織	8
	佐織西	4
海部郡	大治	1
	蟹江	1
	蟹江北	1
あま市	美和	3
一宮市		2
稲沢市		2
大府市		1
尾張旭市		1
岐阜県 可児市		1
	岐阜市	2
刈谷市		1
名古屋市		7
半田市		1
三重県 鈴鹿市		1
	亀山市	1
弥富市		1
津島市	天王	2
	藤浪	3
	神守	7
	暁	2
退職教員（弥富1、津島4）		5

(5) 平成27年度事業に向けて

①継続事業、新規事業（学校ニーズによる）

*学習支援・・・月テラ、ドテラの開始時期の検討

★地域未来塾事業の展開・・・今後検討

*その他の支援は、来年度の学校のニーズにより活動する

②組織

*27年度当初に提示（今年度並み）

③予算

*931,000円（市補助金376,000円＋「地域未来塾」事業予算555,000円→国県市それぞれ3分の1ずつの予算）

*地域未来塾事業は、生徒への学習支援を、大学生ボランティア・退職教員を中心に、豆ボラが運営する事業（詳細は後日）

④運営

*市の支援本部との兼ね合いで、コーディネーター活動やボランティア活動のルールなどができたら、連動した統一性や調整が必要。

(6) コーディネーター連絡

*民生児童委員より依頼・・・民生児童委員の「児童部会」より、神守中のために活動したいとの申し出あり。今後、詳細を打合せし、学校の検討を経て、学校ニーズによって活動。

*入学式後に保護者へ「豆ボラ」の活動を紹介してもらう。

(7) P T A連絡

* P T Aの委員会でも、豆ボラを知ってもらおうと声をかけたが、なかなか興味をもってもらったの難しかった。

*月テラやドテラでは、参加生徒の保護者が、運営面での支援をしていただいた。直接、我が子や他の生徒の姿、及び学ボラさんたちとのやりとりをみて、興味をもってもらえた。花植えなど、子どもから親に伝わるのではないかと。

6 連絡依頼事項

<p>※豆ボラ実行委員会の予定（原則： 曜日、 : ~、校長室または事務局で）</p> <p>※ボランティア登録継続の意思の有無をチェック中（3月末までに）</p> <p>※学生ボランティアへの加入は、「ボランティアの決まり」の遵守を徹底する。</p> <p>※ボランティアミーティングはボランティアの目的を理解してもらう意味で、来年度は実施していきたい。</p>
--

7 その他

【H26年度の課題と工夫】

1 予算減額による事業の工夫

○例年8月時点までの活動をチラシ配付していたが、9月以降の活動が多いので、チラシ配付を正月号として、神守中校区のみに絞った。費用的にも、作成期間も余裕がもて、良いものが出来上がった。

○学生ボランティアの確保は、ますます難しくなってきた。交通費、謝金などを手当てする以上のメリットや魅力を感じる活動が必要である。また、ボランティアの質や意識の向上をどう図るかも、今後の課題である。

○ボラ保険登録は、年度末（2月以降）に参加したボランティアには、保険加入をしなかった。実質120名の登録があったが、保険加入したボランティア数は116名で、保険料の節約を行った。また、年間で2～3回しか参加しないボランティアは、今後、保険加入も検討が必要。

○コーディネーター交流会や研修会に参加したことで、他地区の地域本部の現状や問題点などを把握でき、豆ボラにも活用できたり、豆ボラがこれまで蓄積したノウハウを伝えられて、地区外にも連携の輪が広がった。

○今年度は、秋のボランティアミーティングを開催しなかった。今後、ボランティア相互の交流を深め広げるためと、ボランティアスピリットや学校支援地域本部事業の目的や目標を意識した活動を進めるためには、開催方法に工夫をして、参加を促したい。

○携帯電話代が予算のかなりの部分を占めるため、次年度はスマホを個人契約して、少しでもS

NS等の活用をして、有効に生かしたい。

2 ボランティア募集の方法について

○大学生ボランティア募集は、先輩ボラからの口コミで徐々に次期ボランティアの増加につながったので、今後も継続して取り組む。

○月テラやドテラの運営スタッフを参加生徒の保護者に依頼したところ、少しではあるが、参加協力をいただけた。今後も、参加生徒の保護者の協力を進めていきたい。

3 教師・PTAへの地域本部の理解

○教師の地域本部理解を促進するために実施した「交流会」は相互理解に非常に大きな役目を果たした。PTAの実行委員会参加とPTA役員の月テラ・ドテラの見学等により、次第に豆ボラの理解につながった。

<補助対象経費内訳>

資料2

項目	経費 (円)
諸謝金	272,796
旅費	33,960
消耗品費	2,376
印刷製本費	28,140
通信運搬費	14,186
借料及び損料	126,250
会議費	0
賃金	48,000
保険料	35,100
雑役務費	192
委託費	0
補助対象経費 合計	561,000

教育支援活動の取組実績

資料3

取組内容及び実施方法	<p>①学習支援として、毎週月曜日の放課後、土曜日の午前中の2時間、大学生ボランティアによる学習（寺子屋活動）を実施。参加生徒は40名ほど。</p> <p>②部活動支援として、運動部4部活、文化部2部活に、10名のボランティアが技術支援を中心に活動。</p> <p>③環境支援として、ボランティア登録の庭師が花植え作業をPTA・生徒ボラと一緒に活動。</p> <p>④生活安全支援では、生徒指導部と協働して、あいさつ運動を実施。生活安全ボランティアと5名の津島市少年補導員と協働して、校内巡回活動を月1回行い、非行防止活動を実施。風と土の会も実施。</p> <p>⑤図書支援では、生徒の図書委員と共同で、図書の貸出業務・図書室環境の整備・飾り付けなどの活動を推進。</p> <p>⑥外国人支援では、今年度急に人数が増えたため、学校のニーズにより、日本語指導と</p>
------------	---

	<p>教科指導を中心に適応指導教室やドテラで指導を推進。</p> <p>⑦学校行事支援として、2年生のキャリア教育支援として、大学生ボランティア等と高校大学受験・就職・学習方法等のディスカッションを実施。</p> <p>⑧校区の小学校への大学生ボランティアの派遣。</p> <p>⑨地域コミュニティ主催の行事への支援として、中学生ボランティアの派遣を実施し、地域との連携を推進。</p>
--	---

年間活動日数

学習支援活動			部活動 指導	環境 整備	登下校 安全指 導	学校 行事	その他 (図書、ボ ラ派遣等)	実行委員会	登録ボラ数
授業の 補助	放課後 学習支 援	土日等 学習支 援							
1	15	25	60	4	14	2	76	6	120名